

【第1号議案】

平成29年度事業報告書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

一般社団法人 日本包装機械工業会

目 次

ページ	
3	1 . 概況報告
	2 . 一般社団法人移行に係る公益目的支出に関する事業
	1) 調査情報に関する事業
4	2) 機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業
	3) 包装学校の開講に関する事業
5	4) 技術センターに関する事業
7	5) 検査センターに関する事業
9	3 . 総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会、委員会等の開催に関する事業
	1) 平成29年度定時総会の開催
	2) 理事会の開催
	3) 歳末特別講演会の開催
10	4) 平成30年新年賀詞交歓会の開催
	5) 支部役員会・支部会の開催
	6) 委員会の開催
14	7) 医薬品業界専門セミナー
	8) 包装機械分野における海外調査報告セミナー
	4 . 生産性向上設備投資促進税制ならび中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業
15	5 . 包装機械会館の運営に関する事業
	6 . 関連産業との交流に関する事業
	7 . 福利厚生に関する事業
	8 . 会員の現況

1 . 概況報告

わが国包装機械産業の平成28年度の生産実績は4,295億円で、対前年度比5.2%の高い伸びであった。平成29年度においても、機械統計（経済産業省）の生産高では暦年ベースで8.4%増、貿易統計（財務省）の輸出高も同様に0.5%増で推移しており、当初計画の4,378億円は達成できる見込みとなっている。

当会は平成24年4月1日に一般社団法人日本包装機械工業会としてリスタートし、平成29年度は最終年であったが、調査情報、機関紙発行、包装学校開講、技術センター、検査センターの公益目的事業をはじめ、総会、理事会、支部役員会・支部会、各種事業委員会等の共益事業、展示会開催、カタログ集発行、包装機械会館運営等の収益事業を積極的に実施し、わが国包装機械産業の経営基盤安定化、技術高度化、グローバル化の推進に努め、公益目的支出計画を完了した。

2 . 一般社団法人移行に係る公益目的支出に関する事業

当会は平成24年4月に一般社団法人に移行し、内閣府公益認定等委員会から認定された約2億4千万円の公益目的財産額を調査情報、機関紙発行、包装学校開講、技術センター、検査センターの5つの事業に支出してきた。

平成29年度も前年度に引き続き、上記5つの公益目的事業を実施し、約3,830万円を公益目的のために支出した。その結果、当初の計画通り公益目的財産額はゼロとなり、本年をもって公益目的支出計画が完了した。

1) 調査情報に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、広く一般に公開してわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

(1) 上海包装機械現法懇話会の活動

上海包装機械現法懇話会は、中国に進出している会員企業を対象とした会合を開催し、懇話会会員間の問題解決、情報交換、懇親に努めた。

(2) 知的所有権の保護、模倣品対策の活動

経済産業省、特許庁、ジェトロ等の関連機関との連携の下、わが国包装機械産業の知的所有権保護（営業秘密）に関する情報を、会員企業をはじめ広く一般への情報提供に努めた。

(3) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、平成28年度の実績と生産高と輸出入高ならびに平成29年度の実績と生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

(4) 各種資料・情報の収集・公開

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、当会機関紙「包装機械新聞」等を通じて会員企業をはじめ広く一般に公開した。

2) 機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業

当会機関紙「包装機械新聞」を毎月1回(15日)発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計(経済産業省)、貿易統計(財務省)等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

3) 包装学校の開講に関する事業

わが国包装機械メーカーの若手技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第44期包装学校を開講した。本年度は、平成29年6月の開講式・オリエンテーションから平成30年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・マイクロコンピュータ制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第44期までの修了者は4,641名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

マイコン制御技術課程のPLCメカトロ講座では実習に使用するトレーニングデモ機を以前より包装機械に近づけた仕様に一新した。

第44期包装学校の課程別受講生(計143名)

- 1) 包装機械設計技術専門課程 64名
- 2) パッケージングエンジニア専門課程 69名
- 3) マイコン制御技術専門課程 10名

Visual Basic 講座 C言語講座 PLCメカトロ制御講座

【第1期から第44期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数(人)		修了者数(人)	
	44期	1~44期計	44期	1~44期計
1. 包装機械設計技術課程	64	2,694	63	2,624
2. パッケージングエンジニア課程	69	1,928	68	1,836
3. マイコン制御技術課程	10	267	4	181
合計	143	4,889	135	4,641

注) マイコン制御技術課程の修了者数は3講座受講した場合のみ。

第95回包装学校企画・運営委員会

月 日:平成29年6月8日(木)

会 場:包装機械会館 会議室

内 容:オリエンテーションテーマ及び来期企画の見直し。

第44期包装学校開講式・オリエンテーション

月 日：平成29年6月22日（木）～23日（金）

会 場：天の丸 会議室（愛知県蒲郡市）

ジャパンパック2017包装学校交流会

月 日：平成29年10月5日（木）

会 場：東京ビッグサイト東5ホール会議室

内 容：包装関連業界の活性化を包装学校修了生の交流を通じて高めた。

第96回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成30年2月7日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：ディスカッションテーマ、来期カリキュラムの決定。

4) 技術センターに関する事業

工業会の技術事業のあり方を検討し、技術センター、検査センターの事業方針を決定するために技術委員会を発足させるとともに、ジャパン

(1) 技術委員会

包装機械を取巻く環境変化に対する対応及びジャパンパック2017への取り組みや産学・産産連携について、等の計画及び実施した。

第1回技術委員会

月 日：平成29年6月29日（木）

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：平成29年度活動計画（ジャパンパック、産学・産産連携、等）の実施を審議。

技術委員会 会合

月 日：平成29年10月4日（水）

会 場：東京ビッグサイト 東2ホール 会議室

内 容：包材メーカーとの意見交換の場（凸版印刷(株)群馬センター工場訪問）を決定。

第2回技術委員会（凸版印刷(株)群馬センター工場見学及び意見交換会）

月 日：平成29年11月2日（木）

会 場：凸版印刷(株)群馬センター工場 会議室

内 容：「包装機械と包装材料との適合性について」意見交換をおこなった。

第3回技術委員会

月 日：平成30年2月19日（月）

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：平成30年度技術委員会計画案を検討。

技術セミナーの開催

月 日：平成29年6月29日（木）
会 場：包装機械会館 会議室
演 題：「IoT活用によるものづくりの将来像」
講 師：三菱電機(株)FAソリューションシステム部 次長 溝上悟史氏

月 日：平成29年9月6日（水）
会 場：包装機械会館 会議室
演 題：「海外規格に対応した製品残留リスクの低減」
講 師：(株)テックコミュニケーションズ
ドキュメント部 小林智氏、営業部 西村宏之氏

計量法改正説明会

月 日：平成30年2月8日（木）
会 場：馬事畜産会館 2階会議室
演 題：「計量行政審議会答申をふまえた計量制度の見直しについて」
講 師：経済産業省 産業技術環境局 計量行政室 室長補佐 川端尚志氏

（2）ジャパンパック2017関連

1）主催者企画技術専門セミナー

月 日：平成29年10月5日（木）
会 場：東6ホール セミナー会場
講演者：大森機械工業(株)、(株)フジカイ、(株)東京自動機械製作所、
東洋自動機(株)、(株)京都製作所

2）ジャパンパックアワード審査委員会

事前審査委員会

月 日：平成29年9月27日（水）
会 場：包装機械会館 会議室

実機審査会

月 日：平成29年10月3日（火）
会 場：東2ホール会議室及び会場内

表彰式

月 日：平成29年10月3日（火）
会 場：レセプション会場 ヒルトン東京お台場
内 容：受賞は大賞1社、優秀賞4社、入賞10社

3）プレスツアー

月 日：平成29年10月4日（水）
会 場：プレスセンター及び会場内
内 容：アワード受賞5社（大賞、優秀賞）ブースを訪問。

4）サンプルコーナー・技術相談コーナー

月 日：平成29年10月3日（火）～6日（金）
会 場：ガレリア

内 容：展示製品サンプルの該当企業ブースの検索及び各種技術相談に対応。

5) トマトイノベーションブース展示

月 日：平成29年10月4日(水)～6日(金)

会 場：東7ホール

内 容：一社)日本能率協会主催アグロイノベーション2017に
包装機械と計量器を特別展示。

(3) ISO国内審議委員会

イタリアから提案された包装機械におけるEN415規格のISO化に伴い、国内審議委員会を立ち上げた。委員会組織は、本委員会の下部にWGリーダー委員会及び規格対応別WG委員会を設けた。参画会員企業11社のメンバーで構成。

第一回ISO国内審議委員会

月 日：平成29年12月25日(月)

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：経緯説明、委員長及び各業界団体オブザーバーからのアドバイス、
組織案、スケジュール案の審議、等。

第一回WGリーダー委員会

月 日：平成30年1月23日(火)

会 場：包装機械会館 会議室

内 容：翻訳作業、等の審議作業を効率よく、短期間で行う方策の検討。

(4) 包装技術相談と引き合いの斡旋

包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の
受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員
企業からの技術開発の向上に関する相談の推進に努めた。

5) 検査センターに関する事業

包装・荷造機械検査センターは、包装機械および関連機器の安全性・衛生性の周
知・啓蒙を推進し、労働災害事故の発生を抑えることによってユーザー業界からの
信頼性を高め、包装機械産業の発展に貢献することを目的として1987年(昭和
62年)3月に設立された。

(1) 安全・衛生検査及び指導事業

安全・衛生指導事業

機械安全・CEマーキング等の相談に対応した。安全・衛生指導事業は今後も継
続する。

(2) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マー
ク」を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布を継続した。

英語版は国際規格(IEC82079-1:2012)に則っていないことが判明したので、平成

29年2月中旬で販売を中止した。

(3) 包装・荷造機械の衛生基準 - 2018の作成

現行の「包装・荷造機械の衛生基準 - 1999」の改定に向けて、平成29年度は、衛生基準改定委員会を立ち上げ、素案をもとに審議して「包装・荷造機械の衛生基準 - 2018」を発行した。

第1回衛生基準改正委員会

月 日：平成29年8月1日(火)

会 場：包装機械会館 会議室

第2回衛生基準改正委員会

月 日：平成29年10月24日(火)

会 場：包装機械会館 会議室

第3回衛生基準改正委員会

月 日：平成29年12月7日(木)

会 場：包装機械会館 会議室

(4) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会の開催

日本包装機械工業会は日本機械工業連合会、職業能力開発総合大学校、高度ポリテクセンターと共催で講習会を開催した。

1) 開催場所

関東：高度ポリテク 関西：ポリテク関西

機械の安全化と国際安全規格編 (2日)

関東：平成29年11月14・15日

関西：平成29年10月31日・11月1日

機械安全におけるリスク低減編 (2日)

関東：平成30年度1月24日・25日

関西：平成30年度1月9日・10日

リスクアセスメントの実践と妥当性確認編 (2日)

関東：平成30年度2月7日・8日

関西：平成30年度2月22日・23日

電気制御システム編 (2日)

関東：平成30年2月14・15日

関西：平成30年3月14日・15日

(5) IEC 60204-1 / JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会の開催

平成29年度事業で開催するために、高度ポリテクセンターと協議し下記日程で開催した。

関東会場 高度ポリテクセンター 平成29年12月5・6日

関西会場 ポリテクセンター関西 平成30年 1月16・17日

3 . 総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、 支部役員会・支部会、委員会等の開催に関する事業

平成29年度事業計画に基づき、総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部役員会・支部会をはじめ各事業委員会等を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努めた。

1) 平成29年度定時総会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、定時総会を開催し、平成28年度事業報告案の審議・承認、平成29年度事業計画の報告を行った。また懇親会を開催し、会員の親睦を図るとともに情報交換を行った。

月 日：平成29年5月29日（火）
会 場：鉄鋼会館 会議室（東京都中央区）

2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、平成29年5月、9月、12月、平成30年3月の計4回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況、役員の実務執行状況等の確認・審議・承認を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

第335回理事会
月 日：平成29年5月29日（火）
会 場：鉄鋼会館 会議室（東京都中央区）

第336回理事会
月 日：平成29年9月5日（火）
会 場：包装機械会館 会議室

第337回理事会
月 日：平成29年12月5日（火）
会 場：ホテルオークラ福岡 『オークルーム』（福岡県福岡市）

第338回理事会
月 日：平成30年3月27日（火）
会 場：包装機械会館 会議室

3) 平成29年度歳末特別講演会の開催

事業計画に基づき、平成29年度歳末特別講演会を開催した。

平成29年度歳末特別講演会
月 日：平成29年12月5日（火）
会 場：ホテルオークラ福岡 『メイフェア』（福岡県福岡市）
テーマ：「包装機械分野における海外調査報告（第1部）」
講 師：東洋紡パッケージング・プラン・サービス
 シニアアドバイザー 村内 一夫 氏
テーマ：「海外包装機械メーカーに関する調査及び貿易統計の
 分析報告（第2部）」
講 師：東洋紡パッケージング・プラン・サービス

技術総括部 松田 修成 氏

4) 平成30年新年賀詞交歓会の開催

平成30年1月10日(水)に関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、当会と株式会社日本包装リース合同主催の平成30年新年賀詞交歓会を開催した。

月 日：平成30年1月10日(水)

会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

5) 支部役員会・支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として関東支部役員会・支部会、関西支部役員会・支部会、中部支部役員会・支部会を開催し、平成29年度事業報告案ならびに平成30年度事業計画案について報告を行い、併せて、会員企業からの意見・要望を聴取し、平成30年度事業計画への反映に努めた。

第22回関東支部役員会・第39回関東支部会

月 日：平成30年3月6日(火)

会 場：包装機械会館 会議室

第19回中部支部役員会・第40回中部支部会

月 日：平成30年3月14日(水)

会 場：向月 bekk an (愛知県名古屋市)

第21回関西支部役員会・第57回関西支部会

月 日：平成30年3月15日(木)

会 場：ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド(兵庫県神戸市)

6) 委員会の開催

事業計画に基づき、青年部会、JAPAN PACK 2017 実行委員会、広報推進委員会、IT委員会等の委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

(1) 青年部会

わが国包装機械産業の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会(部長：古川雅章氏 株式会社古川製作所社長)は、以下の事業実施等を通じて会員相互の研鑽に努めた。部会員増強にも尽力の結果、3名の新規入会者を獲得した。

平成29年度総会

月 日：平成29年5月16日(火)

会 場：包装機械会館 会議室

講演会

月 日：平成29年5月16日(火)

会 場：包装機械会館 会議室

講 師：梅森 輝信 氏 ゼネラルパッカー株式会社 代表取締役社長

主 題：人生の分岐点

夏季セミナー

月 日：平成29年8月23日(水)～24日(木)
会 場：ベルエールの森(群馬県吾妻郡)
講 師：荻上 穰 氏 ベストパック株式会社 代表取締役社長
テーマ：私の履歴書の年表

関西国内工場見学会

月 日：平成29年10月25日(水)
会 場：株式会社トパック本社(大阪市)、株式会社イシダ工作所(大阪市)

新年情報交換会

月 日：平成30年1月9日(火)
会 場：亀戸 升本本店(東京都江東区)

第64回幹事会

月 日：平成30年2月21日(水)
会 場：包装機械会館 会議室

関東国内工場見学会

月 日：平成30年2月21日(水)
会 場：森永製菓株式会社鶴見工場(横浜市)

(2) JAPAN PACK 2017 / 2019 実行委員会

JAPAN PACK 2017 実行委員会(委員長：輿水博氏 株式会社横浜自働機社長)は、昨年(平成29年)10月におけるJAPAN PACK 2017(2017日本国際包装機械展)の開催にあたり、主に以下の本委員会活動を推進して開催準備等に努めた。また、明年10月におけるJAPAN PACK 2019(2019日本国際包装機械展)の開催へ向けてJAPAN PACK 2019 実行委員会(委員長：亀田稔氏 トキワ工業株式会社社長)を発足して開催準備を始動した。

< JAPAN PACK 2017関係活動 >

会場WG第2回会議

月 日：平成29年4月6日(木)
会 場：包装機械会館 会議室

第11回正副直前実行委員長会議

月 日：平成29年4月6日(木)
会 場：包装機械会館 会議室

第5回実行委員会

月 日 平成29年4月6日(木)
会 場 包装機械会館 会議室

出展社説明会・東京会場

月 日 平成29年5月18日(木)
会 場 UDX Gallery(東京都千代田区)

来場者勧誘WG第1回会議

月 日 平成29年5月18日(木)
会 場 UDX Gallery(東京都千代田区)

出展社説明会・大阪会場

月 日 平成29年5月19日(金)
会 場 大阪駅前第3ビル(大阪市)

展示会行事WG第6回会議

月 日 平成29年7月26日(水)
会 場 生田神社会館(神戸市)

会場WG第3回会議

月 日 平成29年8月2日(水)
会 場 包装機械会館 会議室

第12回正副直前実行委員長会議

月 日 平成29年8月2日(水)
会 場 包装機械会館 会議室

第6回実行委員会

月 日 平成29年8月2日(水)
会 場 包装機械会館 会議室

第13回正副直前実行委員長会議

月 日 平成29年8月30日(木)
会 場 包装機械会館 会議室

記者発表会

月 日 平成29年8月30日(水)
場 所 包装機械会館 会議室

JAPAN PACK 2017

月 日 平成29年10月3日(火)～6日(金)
会 場 東京ビッグサイト東1～6ホール(東京都江東区)

第14回正副直前実行委員長会議

月 日 平成29年11月7日(水)
会 場 包装機械会館 応接室

報告会

月 日 平成29年11月21日(火)
会 場 あつぎ飯山温泉 元湯旅館

<JAPAN PACK 2019関係活動>

第1回実行委員会

月 日：平成30年3月20日(火)
会 場：包装機械会館 会議室

(3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：山本治男氏 株式会社東京自働機械製作所社長）は、「国際委員会」「広報委員会」「セミナー委員会」を統合し、主に以下の委員会活動等を推進して、工業会の広報事業の検討ならびに对外広報の推進を実施した。

セミナー『ハイバリア PET の最新動向』

月 日 平成29年4月11日（火）

会 場 包装機械会館 会議室

第1回広報推進委員会

月 日 平成29年6月13日（火）

会 場 東京ビッグサイト 商談室

海外展示会における工業会活動PRの推進

ProPak Asia 2017

会 期 平成29年6月14日（水）～17日（土）4日間

会 場 BITEC（タイ・バンコク）

出展社 株式会社エー・アンド・デイ、大森機械工業株式会社、城南自動機株式会社、ストラパック株式会社、第一パック機工業株式会社、トキワ工業株式会社、ニッカ電測株式会社、日本テクノロジーソリューション株式会社、日本ポリスター株式会社、日本自働精機株式会社、株式会社古川製作所、株式会社ベルグリーンワイズ、三浦工業株式会社、大和製衡株式会社、一般社団法人日本包装機械工業会【以上15社・団体・384㎡】

第2回広報推進委員会

月 日 平成29年11月16日（木）

会 場 包装機械会館 会議室

包装関連業界説明会

月 日 平成29年11月29日（水）

会 場 東京工科大学 八王子キャンパス（東京都八王子市）

セミナー『包装機械分野における海外調査報告』京都会場

月 日 平成29年12月13日（水）

会 場 TKP ガーデンシティ京都

セミナー『包装機械分野における海外調査報告』東京会場

月 日 平成29年12月20日（水）

会 場 包装機械会館 会議室

第3回広報推進委員会

月 日 平成30年2月15日（木）

会 場 包装機械会館 会議室

工業会事業案内 平成30年3月作成

調査報告書『包装機械分野における海外調査』 平成30年3月発行

(4) IT委員会

IT委員会(委員長:結城喜世貴氏 株式会社ユーキ社長)は当会ホームページを逐次リニューアルし、当会会員企業、ユーザー業界をはじめ広く一般に対して、当会の各種事業・情報ならびに関係官公庁からの各種情報の速やかな提供に努めた。

併せて、JAPAN PACK 2017 ウェブサイトについては和文、英文、中文の公式サイトを立ち上げ、国内外に向けて同展への出展勧誘に努めた。また出展者検索システムを検討し、実装した。

第13回IT委員会

月 日:平成30年3月20日(火)

会 場:包装機械会館 会議室

7) 医薬品業界専門セミナー

月 日:平成29年9月28日(水)

会 場:包装機械会館 会議室

演 題:第一部「新時代に突入する医薬品業界」、第二部「CVSに関するセミナー」

講 師:バイエル薬品(株) 元会長 並木憲和 氏、
(株)ソアズ 代表取締役 杉本隆之 氏

8) 包装機械分野における海外調査報告セミナー

月 日:平成29年12月13日(水)

会 場:TKPガーデンシティ京都

月 日:平成29年12月20日(水)

会 場:包装機械会館 会議室

演 題:第一部「アセアンとインドにおける包装市場動向と包装機械ニーズに関する調査報告」、第二部「海外包装機械メーカーに関する調査および貿易統計の分析報告」

講 師:(株)東洋紡パッケージ・プラン・サービス
シニアアドバイザー 村内 一夫 氏、技術総括部部長 松田 修成 氏

4. 生産性向上設備投資促進税制ならび中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

当会は平成26年1月にスタートした生産性向上設備投資促進税制(平成28年3月31日までの約3年間)の証明書発行団体として、平成26年2月から証明書の発行を開始し、本年度の発行数は284通であった。累計の証明書発行数は10,148通で、その内訳は正会員6,985通、賛助会員1,114通、非会員2,049通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行(284通)の内訳は次の通りである。

正会員	184通（証明書発行手数料は1通に付 2,000円）
賛助会員	45通（同上）
非会員	55通（証明書発行手数料は1通に付 10,000円）

また平成28年7月にスタートした中小企業等経営強化法の証明書発行団体として、平成28年8月から証明書の発行を開始し、累計の発行数は2,635通で、その内訳は正会員1,819通、賛助会員269通、非会員547通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行（1,866通）の内訳は次の通りである。

正会員	1,265通（証明書発行手数料は1通に付 2,000円）
賛助会員	194通（同上）
非会員	407通（証明書発行手数料は1通に付 10,000円）

5. 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

6. 関連産業との交流等に関する事業

包装機械産業の発展を目的として食品関連産業、製パン・製菓産業、包装関連産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業の関連産業との交流・情報交換を推進した。

7. 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

8. 会員の現況

平成30年3月31日現在の会員数は正会員137社、賛助会員112社、合計249社となっている。平成29年度の入会、退会の状況は次の通りである。

1) 入会

<正会員 7社>

吉川工業株式会社、東京計器株式会社、マルホ発條工業株式会社、
オプテックス・エフエー株式会社、サイエナジー株式会社、株式会社ザ鈴木、
ヒロサワ機械株式会社

<賛助会員 8社>

株式会社テックコミュニケーションズ、ベッカーエアテクノ株式会社、
一般社団法人新日本スーパーマーケット協会、オーシャンテクノロジー株式会社、
B&R Industrial Automation 株式会社、木下鉄工株式会社、バルーフ株式会社、
オムロン株式会社

2) 退会

<賛助会員 3社>

三機工業株式会社、コーンズ ドッドウェル コーディング株式会社、
ミキアール・エー販売株式会社

3) 会員登録の変更

なし